



富島中
学校だより

夢・力・心

～地域とともにある富島中～

第10号

発行元：
日向市立富島中学校
(文責 校長・向江)
令和2年3月16日

「祝 卒業」新型コロナウイルスを笑顔で吹っ飛ばせ！

今日は令和最初の卒業式、3年生とお別れの日です。卒業間近にして、新型コロナウイルスの感染防止のために、学校が臨時休業となり、落ち着いて受験に臨めなかったり、楽しみにしていた思い出づくりができなかったかもしれません。富島中学校は皆さんにとって、永遠に「母校」です。いつでも立派になった姿を見せに来てください。

卒業式の「式辞」(※一部省略しています。)

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

誰が、こんな展開を予想していたでしょうか。あのAIですら予想はできませんでした。3年生にとっての3月は、高校入試があり、3年間に共に過ごした友達との思い出をつくる卒業前の大切な時期です。そんな大切な時期を新型コロナウイルスによって臨時休業にされてしまい、「何で私の時に」と恨んでいるかもしれません。

ただ、9年前の3月11日、あの東日本大震災の時も、今回と同じ思い、いや今以上に辛い思いをした中学3年生がいましたが、今では社会人として力強く生きています。皆さんも、何年か先に再会した時、寂しかったこの時期を振り返って、「今まで誰も経験したことのない経験を今日の仲間と共有できたこと」を一つの思い出として、笑顔で語り合える日が来ることを願っています。

さて、今授与しました卒業証書は、皆さんが中学校の3年間に、今回のことも含め、さまざまな壁を乗り越え、たくましく成長した証であるとともに、皆さんの成長を願って愛情を注いでこられた方々の想いが詰まったものです。義務教育の修了を迎えるに当たって、家族、先生方、地域の方々、そして、励まし合った仲間感謝して欲しいと思います。

今、皆さんの頭の中では、三年間のたくさんの思い出が駆け巡っていることと思います。皆さんと過ごしたのは、

今年一年だけでしたが、笑顔のあいさつをはじめ、最後の中体連での涙、体育大会での熱い躍動、合唱コンクールでのクラスの団結力、受験勉強で見せた底力、汗だくになるまでサッカーをして遊ぶ昼休みの無邪気な姿、などの中に多くの「本気」を見ることができ、「元気」をもらいました。そんな姿が、多くの人に「感動」や「さわやかな気持ち」を与えたのだと思います。

そんな素直な皆さんだからこそ、機会があるごとに、これからの時代を生き抜くヒントになりそうな話をしてきました。「王者の風格」、「ノミのジャンプ」、「ポジティブな考え方」、「美しい心」、「凡事徹底のレベルアップ」など、いつかこんな場面に出会った時に、一つでも思い出してくれるとうれしいです。

現在、世の中は、国の内外を問わず、多くの課題が山積み、「一寸先は闇」の状態です。皆さんの前途も順風満帆というわけにはいかず、「困難や苦勞」にも直面するでしょうが、決して何もかも「一人で困難を打ち破ろう」と思うのではなく、時には悩みを話し、苦さを訴え、助けを求めることも必要です。そんな弱音に耳を貸してくれるのが、中学時代に苦樂を共にした「仲間」であり、愛情あふれる「家族」であり、いつでも温かく迎えてくれる「故郷」でありますので、これからも一生の宝物として大切にしてください。

令和2年3月16日

日向市立富島中学校
校長 向江 修一



【朝のあいさつ運動】



【合唱コンクール】



【体育大会】



【部活動表彰】



【ラグビー部市長表敬】



【通学路ピカピカ大作戦】



【ピブリオバトル】

当たり前のことが当たり前できるように、**凡事徹底** (ほんじてってい) に、学校一丸となって取り組んでいます。

「2分前着席・1分前黙想」

「あいさつ・返事」

「無言清掃・整理整頓」

◆◆富島中ホームページ◆◆

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4601/htdocs/>

富島中

検索

学校だより等、学校の情報をご覧いただけます。

卒業生の皆さん、いつも気持ちのいい笑顔をありがとう。18日は合格発表、27日は離任式ですね。寂しくなりますが、グラウンドも開放していますので、また、元気な姿を見せてください。(向江)

